



どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが 株式会社 フジタです。

フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。



納入実績

江東区男女共同参画推進センター

屋外、屋内サインを製作しました。



今回ご紹介させていただくのは「江東区男女共同参画推進センター」です。男女共同参画社会を実現するための諸施策を推進するとともに、区民の活動拠点となる施設の改修工事を設計から協力させていただき、外部、内部ともに弊社にて納品致しました。



外部サインには新設にてアルミ自立式の駐車場案内サイン、ポスターケースを設置。名称が変わったため入口上部のサインも変更いたしました。内部のメインはアクリル製サインとなっており、会議室や研修室などには不在・在室が一目でわかるGFMプレートを採用。また、和室には木枠のTWプレートを納品しました。突出しサインにはアクリル、木製共にフジタオリジナルのスイングプレートを取付けました。



その他、内部の施設名称サインには様々な別注品も製作しました。レストランのサインには透明アクリルを加工した製品や、他の部屋にはアルミ複合板に木目調シートやイラストを印刷した出力紙を貼ったサインを設置しました。施設内をより明るい雰囲気にしております。またトイレの個室に備えられている設備がわかるように、扉に貼る小さめのピクトシートを用意しました。これらの製品は別注品のためカタログには掲載されませんが弊社で製作可能です。

今回も設計の段階からご協力させていただき、規格品から別注品と多種多様なサインを納めることができました。

ご提案から納品までに携われたということを嬉しく思います。



納入レポ! 「二宮電線工業株式会社」様



神奈川県相模原市にある二宮電線工業株式会社様の増築工事において納入しました、弊社の室名札やピクト表示板、会社銘板をご紹介します。私の友人であるオーナー様より、GWが終わった頃に連絡を頂きました。それは、増築工事をしている中で、弊社の室名札を使用したいという嬉しい内容のものでした。早速現場事務所へカタログをお送りしたところ、偶然にも現場の建設会社さんも弊社を知っていたご縁もあり、話はスムーズに進みました。



↑室名札はPFT(ブララインシリーズ)を設置しました



在空表示付も対応できます

素材にアルミを使用したオフィス向きの新商品を、今回は提案いたしました。エンボス加工を施し、表示基盤にシャープな横ラインを入れることで変化に富んだ室名札に仕上がり、設計の先生からは、わかりやすい特徴のあるピクト・表示板のデザインを頂くことができました。

普段エンドユーザーさんの顔を見ながらの仕事が少ないので、いつも以上にやりがいを感じた仕事でした。



シートサイン拡大



東京支店 藤田 浩嗣

NEWS! 中小企業大学校「クレーム対応力向上講座」

中小企業大学校にて「クレーム対応力向上講座」を受講してきました。

みなさんはクレームと苦情の違いをご存知ですか？

私は同じような意味で使っていました。

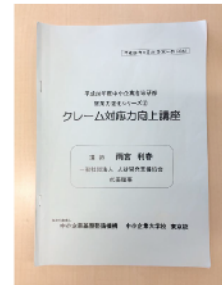
苦情は感情的な問題（謝れば済むレベル）であるのに対して
クレームは問題解決を求める要求・請求です。



弊社では商品を工場から直送していますが、天候や交通事情などによりご希望の時間帯にお届けできない時があります。「荷物が届かないんだけど」という電話に対して「出荷はしていますので、申し訳ございませんがもう少しお待ちいただけませんか？」と対応して納得していただけた場合は苦情です。一方、こちらがどんなに説明しても「今日、施工ができなかったから別の日の職人代も請求する」と言われた場合はクレームになってしまいます。弊社では施工代は負担していませんので、そのようなクレームを未然に防ぐために新カタログには「施工代等のクレームは負いかねますので事前にご確認を充分に行ってください」という規約を掲載しました。

しかし、残念ながらいくら規約を載せても、どんなに良い商品を作ってもクレームは100%防ぐことはできません。それはクレームの原因のひとつとしてお客様の誤解によるものがあるからです。もしそのような場合は「事実確認ができる前に全面的に謝ってはいけません」ということを言われました。それでもお客様が不快に思ったことは事実なのでその思いに対してはまず謝ることが大切です。クレームと苦情の境目はグレーゾーンで、対応次第で苦情がクレームになったり、クレームが苦情で済むこともあります。

お客様と良い関係が築けていればクレームが苦情で済む場合もあるのではないのでしょうか。



東京支店 長谷川 真理子

新商品第1段『ウォールナットプレート』



◆平付サイン



スライドロック機能で
指輪の付着・交換が
容易に行えます。

◆突出サイン



◆居室用サイン



ネームプレート
設置可能!!

◆案内板



新カタログVOL15に掲載された新商品をご紹介します。

フジタの人気サインの1つでもある木製サイン【タモプレート】、【メープルプレート】に続き、このたび、新たに【ウォールナットプレート】と【桂材のグループホームプレート】が仲間入りしました！

10月号の1オシでは【ウォールナットプレート】を、11月号で【桂材のグループホームプレート】をご紹介します。

ウォールナットは家具、建材に使用される木材で「ブラックウォールナット」のことを指します。クルミ科クルミ属の落葉広葉樹で、日本では「クルミ」と呼ばれており、私たちもなじみのある樹木です。（実であるクルミもパンやスイーツ等によく使われていますね。）

明るい色味であたたかさや爽やかな印象の【タモプレート】や【メープルプレート】に比べ、【ウォールナットプレート】はその特徴でもある美しい色とモダンな雰囲気、より高級感が感じられる仕上がりとなっております。ラインナップとしては平付けサインに突出サイン、マグネットで名前の入れ替えが可能な居室用サインです。プレートの形状は、四方の角が柔らかくラウンドされている正方形と優しい印象を与える正円型です。施設の雰囲気に合わせて、お選び頂けます。また、施設利用者を誘導する案内板もご用意しましたので、施設のサイン一式を【ウォールナットプレート】で揃えることができます。【タモプレート】や【メープルプレート】も多岐にわたる施設でご利用を頂いてますが、時折『濃い茶色の木製サインはないか?』とのお問合せを頂く事が増えておりました。かつてより作りたいたいと思っていたものが、お客様のお声も反映された形となって誕生しました。木製サインの選択肢の1つに【ウォールナットプレート】や【桂材のグループホームプレート】もぜひご検討ください。

東京支店 石井 正子

出展報告 SIGN & DISPLAY SHOW 2016 に出展しました!



2016年9月1日から9月3日までの3日間、東京ビックサイトにて開催されておりました「SIGN&DISPLAY SHOW 2016」展示会に出展いたしました。おかげさまで、今年で18回目の出展となりました。

今回は、新総合カタログVOL.15と新商品のお披露目をさせていただきました。新総合カタログは、分かりやすくなるよういくつか工夫をいたしました。例えば、よりイメージしやすいように学校や病院のイメージ写真を挿入したり、商品を探しやすくするため後ろのページには品番索引を加えました。

新商品は、立体感があり、宙に浮いているように見える3Dピクトと高級感の色合いのあるウォールナットプレートに桂材を使用したグループホームプレートです。コンパクトなサイズ感と自然な色合いが高齢者福祉施設にぴったりな商品です。特に、ブースの中央に配置した3Dピクトが大好評で「ぜひ使用したい!」「かわいい」といった声を多く頂きました。

また、有り難いことに新カタログも「送ってください」との声を多くいただきました。新カタログ・新商品ともに、ご好評をいただき嬉しい限りです。

個人的なことになりますが、私は今回はじめて展示会に参加いたしました。普段は社内にいることが多いため、展示会で頂いたお言葉はとても勉強になりました。また、「フジタの商品を使っているよ」「知っている」との声をいただいたときは、弊社を誇らしく感じました。

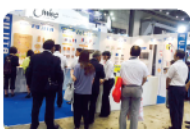
いまだ暑さが残る中、弊社ブースに足を運んでいただいた皆様本当にありがとうございました。今後ともフジタをよろしくお願い致します。



新カタログ、新商品のお披露目です!



3Dピクトも大好評でした!



終日大盛況でした!



東京支店 小笠原 彩恵

神奈川県めぐり ～横浜編～

神奈川県在住の東京支店長が神奈川の魅力をお届けします

今回の神奈川県めぐりは横浜市立動物園のご紹介です。横浜市には3つも動物園があることをご存知ですか？



◆野毛山動物園 <http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>
みなとみらい21地区を見下ろす高台にある野毛山公園の中にあります。

昭和24年(1949年)3月、野毛山公園は横浜市主催の日本貿易博覧会の会場に選ばれました。この会場の一部にクマ、キツネ、タヌキなどの動物を展示したのがきっかけで昭和26年(1951年)4月に野毛山遊園地として開園しました。昭和47年(1972年)に世界で2番目にコンドルの繁殖に成功し同じ年「野毛山動物園」となりました。他にもヒョウ、ヒトコブラクダ、ナマケグマなど多くの動物の繁殖に日本で初めて成功しています。飼育する動物は約90種で身近に動物を感じられる展示になっています。「なかよし広場」ではモルモットやマウスなどの小動物ともふれ合えます。入園無料でお財布にも優しい動物園です。



◆金沢動物園 <http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>

横浜市の南部にある緑豊かな金沢自然公園内にあり、世界の希少草食動物を中心に飼育している動物園です。昭和57年(1982年)に野毛山動物園の分園として開園しました。当初はアフリカ区にオオツノヒツジなど3種10頭の展示でしたが現在では生息地別にアメリカ区、ユーラシア区、オセアニア区、アフリカ区の4大陸に分かれていて2種の動物を、飼育しています。「ほのぼの広場」ではヤギやヒツジにえさをあげることができます。公園内には長い滑り台があり景色のよい場所でバーベキューもできます。土曜日は小・中・高校生は入園無料です。



◆よこはま動物園「ズーラシア」<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zooraasia/>

「ズーラシア」の愛称で親しまれ平成11年(1999年)4月に横浜動物の森公園内に開園しました。「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げ、世界中の野生動物を飼育している国内最大級の動物園です。そのため、世界旅行ができる動物園として植物や自然環境についても楽しく学べます。展示動物は約70種で世界三大珍獣のひとつであるオカピを日本で初めて展示した動物園でもあります。「ズーラシア」という愛称は動物園(zoo)と広大な自然をイメージしたユーラシアの合成語で市民公募で選ばれました。



東京支店 長谷川 眞理子

フジタの広場 フジタスタッフ



デザイン部 小笠原 彩恵 入社1年目 東京支店勤務

今年の4月に新入社員としてフジタに入社いたしました、デザイン部の小笠原と申します！東京支店に勤務しており、主に子会社であるブリッジワンの社名板の原稿作成フジタのサインの知恵袋・電話対応等を行っています。学生時代は、被服学科に所属しファッションマーケティングや服のデザイン・色彩学を学びました。デザインに関わる仕事が出来て、とても嬉しいです！ブリッジワンの原稿作成では、お客様の顔が見えないため電話・メールでの丁寧なヒアリングを大切にしています。入社して半年が経ちましたが、まだまだ覚えることが沢山あり毎日が勉強です！これからも、精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。

詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

新総合カタログVol15 配布中！

2016年9月発行

本会社見学開始 受付中！

ECOへの取組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります！



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

お問い合わせ 株式会社 **フジタ** ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします！

京都本社
担当：今井
Tel. 075-592-7550 Fax.075-592-7524
E-mail:info@fujitanet.co.jp
〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4

東京支店
担当：鳥羽
Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931
E-mail:tokyo@fujitanet.co.jp
〒102-0092 東京都千代田区準町 2-13 プライムビル 6F